

# 昭和大学新聞

学校法人 昭和大学  
 発行人 小口勝司  
 電話 (3784) 8000 〒142-8555  
 東京都品川区旗の台1の5の8  
 1部50円 毎月1回発行

## 8月号の内容

- 1面
  - 昭和大学病院PCRセンター設置
  - 教育研修棟竣工式を挙行
- 2面
  - 小野賢二郎教授らの研究グループがミリスチンのアルツハイマー病に対する有効性を示唆
  - カンナビノイドを用いた共同研究・事業化に向け包括連携契約を締結
  - 認定看護管理者教育課程開講式
  - 昭和大学奨学金奨学生採用式
- 3面
  - 令和3年度科学研究費助成事業採択課題一覧(医学部)
- 4面
  - 富士吉田キャンパス体育祭
  - 昭和大学上條記念ミュージアム企画フォトコンテスト開催
  - 昭和大学リカレントカレッジの活動報告
  - 昭和大学各附属病院へのご支援の御礼
  - 昭和大学サポート寄付金寄付者氏名
  - 就任のお知らせ

## 【問合せ先】

【本紙について：総務課大学広報係】  
 03-3784-8059  
 press@ofc.showa-u.ac.jp  
 【各種募金・寄付について：企画課】  
 03-3784-8387  
 【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】  
 03-3784-8022(旗の台)  
 0555-22-4403(富士吉田)  
 045-985-6503(横浜)  
 03-3784-8026(入学支援課)

## 「昭和大学病院PCRセンター」設置

4月1日、「昭和大学病院PCRセンター」が設置された。同センターは、令和2年5月22日に旗の台キャンパスの1号館内に開設した「新型コロナウイルス対応PCRセンター(学内PCRセンター)」を昭和大学病院に移管したものである。

本学各附属病院の発熱外来受診者、入院および入院予定の患者、体調不良の職員・学生のほか、病院実習前の学生、富士吉田キャンパス入寮前の学生および職員のスクリーニング検査など、1日あたり平均で約200〜250人分の検体検査を行っている。

## PCRセンターの活動に1057



昭和大学病院PCRセンター長  
木内 祐二

昭和大学では、附属病院の発熱外来受診者と手術予定患者の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)への感染の有無を判定する目的で、令和2年5月22日に旗の台キャンパスの1号館4階に新型コロナウイルス対応PCRセンター(本年4月から昭和大学病院PCRセンター)を開設しました。設立のきっかけは、附属病院の医師から「発熱外来受診者のPCRの検体を民間の検査会社に出すと結果が判るまで数日かかる。学内の基礎系の研究者と機器を集めてもっと迅速にできないか」という要望があったことです。

これを受け、大学の強力な支援と、医・歯・薬学部の基礎系教育職員の協力のもと、PCRセンターの構想を練り2週間程度の短期間で準備を進めました。設立後すぐに、品川区保健所から衛生検査所の認可を得て、PCR検査の対象を附属病院、昭和大学病院、東病院、江東豊洲病院、歯科病院の全入院予定患者のスクリーニング(上記病院以外は横浜市北部病院で実施)、4学部および看護専門学校学生の臨地実習前、1年生の富士吉田キャンパス入寮時、体調不良の病院スタッフ・職員・学生などの検査まで広げました。本年7月末までに約6.4万検体を検査し、

1,260件以上のSARS-CoV-2陽性検体を検出しています。また、本年3月以降は、陽性検体の変異株(デルタ株、アルファ株、ベータ株など)判定も行っています。

月土の午前・午後の2回検査を行い、1日平均200〜250検体(多い日は500検体)を検査し、同日中に結果(陰性、陽性とウイルス量の指標となるCt値)を判定、通知します。多くの検査を円滑に実施するため、大学病院の臨床検査技師とともに、医・歯・薬学部などの主に基礎系教育職員が積極的にボランティアとして協力しています(現在まで80名以上が参加)。1日6人程度がローテーションするシフトを組み、隣接する大学病院からの検体搬送、検体の抽出・測定、データ入力や結果の送付を分担し、「コロナ

ナ禍で切迫している医療や社会、学生教育の役に立てれば」という「至誠一貫」に基づく高い意識と、日頃の分子生物学的な知識と技術を用いて、チームでPCR検査を実施し、迅速に精度の高い結果を出しています。

医系総合大学の本学ならではの「オール昭和」の体制で、昭和大学病院PCRセンターの活動を継続し、附属病院の新型コロナウイルス感染症治療とともに、安全・安心な大学教育と医療を支えていきたいと思えます。



昭和大学病院PCRセンター

## 「教育研修棟」竣工式を挙行

6月30日、旗の台キャンパスに完成した新校舎「教育研修棟」の竣工式を挙行了。梅雨空の下、真新しい姿を披露した教育研修棟は地上3階建てで、昭和大学リカレントカレッジ(社会人の



竣工式：神事



教育研修棟 外観

アカデミックな学びの場で使用する講義室や、シミュレーターなどの最新設備を配備した研修室がある。これらの最新設備は、学生の

実習・演習、卒後の研修などにおいて、主に基本的な技や専門的な技術の修練に最大限に活用していく。

## PCR検査従事者一覧 (従事期間：2020年5月22日～2021年7月30日)

※敬称略

医学部 薬理学講座医科薬理学部門 木内 祐二  
 薬学部 臨床薬学講座感染制御薬学部門 石野 敬子  
 遺伝子組換え実験室 石川 文博  
 医学部 薬理学講座医科薬理学部門 宇高 結子  
 薬理科学研究センター 小山田英人

### 【医学部】

解剖学講座顕微解剖学部門 大滝 博和 / 澤 智華  
 生理学講座生体制御学部門 安達 直樹  
 生理学講座生体調節機能学部門 上條翔太郎  
 生化学講座 金山 朱里 / 宮崎 拓郎  
 臨床病理診断学講座 木村 聡 / 村井 聡  
 薬理学講座医科薬理学部門  
 佐々木晶子 / 小口 達敬 / 岩瀬万里子 / 海野 真一  
 内川 雅子  
 薬理学講座臨床薬理学部門 三邊 武彦  
 微生物学免疫学講座  
 伊與田雅之 / 石川 裕樹 / 久野 芳裕 / 長島 隆一  
 医学教育学講座  
 高宮 有介 / 土屋 静馬 / 古田 厚子  
 内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門 大森 亨  
 内科学講座脳神経内科学部門 森 友紀子

### 【歯学部】

口腔解剖学講座 馬谷原光織  
 口腔生理学講座 望月 文子  
 口腔生化学講座 須澤 徹夫  
 口腔微生物学講座 桑田 啓貴 / 森崎 弘史  
 歯科薬理学講座  
 高見 正道 / 坂井 信裕 / 唐川亜希子 / 茶谷 昌宏  
 畔津 佑季  
 歯周病学講座 山本 松男 / 相澤 怜 / 菅野真莉加  
 歯科補綴学講座 浦野 絵里  
 口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門 椋代 義樹  
 歯科矯正学講座  
 長濱 諒 / 瀧澤 秀臣 / 高橋 侑嗣 / 森川 金汰  
 河合 良太 / 濱田富次朗  
 口腔病態診断科学講座口腔病理学部門  
 安原 理佳 / 田中 準一  
 インプラント歯科学講座 清原 秀一  
 全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門 西村 晶子  
 スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門  
 伊澤 光  
 スペシャルニーズ口腔医学講座障害者歯科学部門  
 嘉手納未季

### 【薬学部】

薬学教育講座教育企画・評価学部門 小林 靖奈  
 基礎薬学講座生体分析化学部門  
 加藤 大 / 松林 智子  
 基礎薬学講座生物化学部門  
 板部 洋之 / 澤田 直子 / 牧山 智彦 / 渡邊 雄一  
 基礎薬学講座腫瘍細胞生物学部門 日暮 大渡  
 基礎医療薬学講座毒物学部門 沼澤 聡  
 基礎医療薬学講座薬理学部門  
 柴田 佳太 / 古林 創史  
 基礎医療薬学講座生理・病態学部門 巖本 三壽  
 基礎医療薬学講座薬剤学部門  
 村山 信浩 / 藤田 吉明 / 齊藤 清美  
 基礎医療薬学講座薬物動態学部門 田島 正教  
 社会健康薬学講座医薬品評価薬学部門  
 岩井 信市 / 亀井 大輔  
 社会健康薬学講座社会薬学部門  
 岸本 桂子 / 赤川 圭子  
 社会健康薬学講座衛生薬学部門  
 中谷 良人 / 桑田 浩 / 依田恵美子 / 佐々木由香  
 臨床薬学講座薬物治療学部門  
 大林 真幸 / 里 美貴  
 臨床薬学講座がんゲノム医療薬学部門  
 竹島 功高 / 松本奈都美  
 臨床薬学講座臨床栄養代謝学部門  
 千葉 正博 / 唐沢 浩二

### 【保健医療学部】

看護学科 下司 映一  
 作業療法学科 峯岸 玄心 / 古賀 誠

### 【富士吉田教育部】

荒田 悟 / 佐野 佳弘 / 前田 昌子 / 久光 隆  
 剣持 幸代

### 【先端がん治療研究所】

山岡 利光 / 今村 知世 / 吉田 玲子 / 長谷部友紀

### 【臨床薬理研究所】

龍 家圭

### 【臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学】

細沼 雅弘

### 【保健管理センター】

田中 大介

### 【遺伝子組換え実験室】

橋本 光正